

1月23日(水) 本年度第25回(通算2945回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル
『職業奉仕月間によせて』

担当/職業奉仕委員会

☆お客様

松谷 遊夢様(FMくしろパーソナリティー)

☆出席報告【会員総数79名 免除4名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率 出席者 37名 メーキャップ 3名 本日の出席率 50.6%

前々回の出席率 出席者 46名 メーキャップ 0名 本日の出席率 58.2%

☆ニコニコ献金

- ・松谷さん、本日のご講演ありがとうございます ～小林 裕幸君
- ・松谷さん今日はよろしく願います ～大友 淳君、石森 将敬君、本間 明美君
- ・誕生日ありがとうございます ～長内 信辰君、田村 憲一郎君
- ・入会記念日ありがとうございます ～北川 健二君
- ・誕生日ありがとうございます ～小久保 智紀君
- ・日本製紙クレインズ署名活動よろしく願います ～坂入 信行君
- ・入会2年目突入しました。今後とも宜しく願います ～星 耕輔君

☆《小林会長》☆



皆さんこんにちは。先週のクラブ全員協議会皆様のご協力により、スムーズな進行出来ました事、感謝申し上げます。1月の例会も本日が最後となりましたが、あと5カ月気を引き締めて運営していこうと思います。ご協力をお願いいたします。

1月20日曜日、イトーヨーカ堂釧路店が閉店いたしました1981年7月のオープンといいますから、私が17歳・18歳のころとなります。当時は、北大通りがまだ活気のある時期でした、街へ行くイコール北大通へ行くという時代でしたから、郊外型の出店の第一号ではないかと思えます、私も、閉店前に一度、行ってみようと1月13日の日曜日に行ってみました、駐車場も、たいへん混んでおり来店客も多数おりました。常に今日くらいの来店客数があれば、閉店という選択肢はなかったんだろうと考えさせられました。釧路店で働いている人は新聞によりますと、社員27人・転勤のないフィールド社員15人・パート108人。社員27人は転勤という形で、別の店舗へ移動できますが、他の123人は解雇となるそうです。釧路市の基幹産業、紙パルプを扱う製紙業、漁業水産加工業、石炭等の産業があるわけですが、いずれも縮小傾向にあるのは、皆さんもご存じだと思います。ある程度の規模の働く先の分母の部分が、どんどん小さくなっているようようです。このような状況下で現在、北ロータリークラブは79名という会員数がおります。この会員数をこれから先維持していくことは頭では分かっておりますが、大変な事と再認識させていただきました。

さて、本日の例会ですが、釧路エリアのラジオ聴取率(ちょうしゅりつ)が高いFMくしろさんより、松谷さんを迎えての例会となっております、25歳とこれからの時代を担う方がどのようなお話をされるのか、楽しみにまいりました。本日は、どうぞよろしく願います。

《大友幹事》



【 報 告 】

1. 12月理事会議事録を供覧しております。
2. 上期第2回家庭集会報告を、パーソナルボックスに入れております。

【 回 覧 】

1. 釧路北ローターアクトクラブより2月5日開催第14回例会案内

職業奉仕月間によせて



安田職業奉仕委員長

本年度、職業奉仕委員長を務めさせて頂いております安田でございます。
本日は「職業奉仕月間によせて」と言うことで、職業とそのスキルの重要性を認識するロータリーは、地域社会の様々な職業、ビジネス、団体とのつながりを生かし、活動実践をしております。当然、私達会員は、職業スキルを奉仕に生かし、職場においてもロータリーの理念を実践する責務がございます。

そこで本日、職業奉仕の実践の一助となるべくエフエム釧路松谷様をお呼びしております。本例会を通し、互いの職業について学び合い、地域社会での奉仕活動において、職業スキルを生かすことができれば幸いです。

尚、松谷様のご経歴につきましては、お手元の資料の通りとなっております。それでは、松谷様、宜しくお願い致します。



FMくしろ パーソナリティー
松谷遊夢 様

本日はお招きいただきありがとうございます。

FMくしろ松谷遊夢です。僕は故郷江別市から釧路に来て、そしてFMくしろに入って、1年半ちょっとですがよく言われるのが、「よくぞ釧路まで来たね。」
「釧路の若者はみんな札幌や東京へ行ってしまうのに、珍しいね。」って。今回は江別市出身25歳、(当時は23歳)の私がどういう経緯で釧路に来たのか。どういう経緯で夢だったラジオの仕事に就いたのか。少年時代に抱いた夢の話も踏まえて、僕の夢のお話しをしたいと思います。まだ何も成し遂げていない25歳の僕のお話でありますので、僕から教えられることはありませんが僕の話からどこか一つでも、参考にしていただければと思います

さて、私の趣味は、仕事で一緒になった方からお誘いを受けて昨年草野球をやっております。高校の途中まで野球をやっていました。皆さん仕事をしている大人の方ですから大半の試合は朝野球で朝3時4時に起きて試合します。久々に試合というものに復帰して楽しくて楽しくてしょうがないんです。僕の放送もOPトークなんかは野球の話が多くなっちゃって、リスナーさんからご指摘もいただいたりもするんですが…。そんな中、25歳という年齢なんですが、昨年試合中に肉離れを起こしております。今シーズンは大きく目標を掲げて「3割・3本・3盗塁」を目指して頑張ってます。

僕の趣味についても少しお話させていただきます。これは実はラジオに大きな影響を与えられておりまして、ラジオから流れてきたさだまさしさんの『風に立つライオン』がきっかけでした。これまたこんな趣味をしていると放送の中で古い曲ばかりで、ご指摘をいただきます。



僕がいなければゼミの進行なんて全くできないと思います。ですが、そんな僕に対して教授は僕を強制的にゼミから解雇したんです。理由としては「ここにいるべきじゃない。」「ここには芽が出ないぞ。」ただそれだけのことでした。僕としてはゼミを離れるということは考えていなかったし、というか、そう考えられるほど周りもみえていなかったし、そんな勇気もありませんでした。ですが結果として未熟で考えも浅はかだった僕を強制的にゼミを追い出されたおかげで、大学時代たくさんの経験が出来たし、消極てきな僕が変わることができたなど感じております。そして大学4年生になって就職活動となったんですが、やはりラジオの仕事がやりたい！なおかつ地域おこしのゼミを立ち上げて活動していたものですから地域に密着したコミュニティのラジオ局がいい！と思っていました。そんな中、大学経由でとあるコミュニティラジオ局の関係者に会うことが出来まして、助言を求めに行きました。そこで言われたのが…。この方は北海道のコミュニティラジオ局の中ではかなり有名な方で、たくさんのラジオ局の立ち上げに携わった方だったので、この人が言うなら間違いないと思いこの言葉がきっかけで僕はラジオでの就職はこの時点ではいったんあきらめ、完全にその他の業種、企業での就職活動へシフトしました。そのまま札幌にある会社へ就職しました。東京に本社があるベンチャー企業で、設立5年目の企業でした。そこで僕は光回線の営業をしていました。この会社は非常に年齢層が若く、社長は30代、札幌の支社長も40代前半でした。そして同僚も20代30代が中心で、2つ年下が課長だったり、一つ上の2年目の社員が課長代理でした。なんでこうなのか。この理由というのはホントに超実力主義の会社だったということなんです。果たして僕はこの会社でやっていけるのか？営業なんて自分には無理無理。そもそもいつかはやめてラジオの仕事に就くつもりだし…。と思ったまま4月実際に働いてみた結果。同期は全国に60人以上いた会社だったんですが、入社1カ月目で月間新人賞受賞。自慢じゃないけど、めちゃくちゃやれてしまったんです。働いていきなりの給料UPしました。そして、表彰のために本社の東京に行きました。その表彰式の夜には社長やおそらく身分が高かったであろう人達とお食事会があったんです。その場所が画像に出ているんですが、そのお食事会で突然30代の社員の方がベランダに出てみる。東京タワーとスカイツリーこのまま頑張ればこの景色よりももっといい景色が見られるよ。どういうことですか？と聞いたらと30代の上司が「俺はこの階よりの10階上にすんでるんだ」っていうんです。1年目にしてかなりの好スタートを切ったわけでありまして。そしてやればやるほど評価されるし、なおかつ想像以上に結果もついてきた。会社もものすごく夢を見させてくれる。将来をものすごく明るく照らしてくれたんです。ですが、この先を明るく照らしてくれればくれるほど、この道じゃないというものはっきり見えてしまって、どんどん嫌になっていくといえますか、やっぱりラジオがやりたいと思うようになりました。その結果、かなりはたから見ると順調に進んでいるように見えるんですが、その会社を半年たらずに退職いたしました。ここで冒頭の名前の話に戻りますが、夢に対してはかなり執着あるようで、そしていきなり新人賞で退社するなんてかなりの余裕もあったのかもかもしれません。

札幌でアルバイトや派遣で働きながらラジオの仕事を模索しました。その時にたまたまタイミングよくFMくしろの求人を見つけ、就職となりました。面接もちょうどこの時期で2017年1月26日です。ホント約2年前のことでした。そしてやっとですけれども、2017年4月FMくしろに入社となりました。一年半が経ち現在の僕ですが現在は、この番組は昨年の四月に担当となりました。朝の情報番組です。写真はスタジオの様子です。スタジオにはゲストがいなければ一人です。ミキサーの操作や、話す話題から選曲、天気予報や乗り物などの情報収集。いただいたメール出しからリクエストの音源探しまで、すべて一人で行います。そして、その他では、高校野球の実況生中継の実況担当をしております。FMくしろで

実はFMくしろの中では唯一の20代なんです。

なんですがかける曲が一番古い。

会社的には唯一の20代なんだからもっと米津けんしとか西野カナとかかけてほしいようなんですが。

どうしても吉田拓郎やさだまさしに行ってしまうんですね…。

ラジオは僕の職業ですが、ここであげているのは趣味は、【ラジオを聞く】ということですね。深夜放送を学生の頃から聞いておりました、高校の頃は深夜放送をテープレコーダーでAメンB面で録音して、カセットウォークマンで通学中にひたすらラジオを聞いておりました。ただこれは2010年のお話なので、周りの同級生はケータイやI podでした。ここまで私の自己紹介を聞いていただいてお気づきかと思いますが、僕はかなり変わり者なのかもしれません。そして自己紹介をすると必ず聞かれることがあります。名前についてです。母がつけてくれた名前です。第一候補は有夢。あまり誉め言葉としては使われていないようですが、キラキラネームなんて言われます。そして今のところ、よくも悪くもこの名前の名前の通り25年間を生きてきたかなあと思っております。しかし遊夢という名前は大変気に入っております。両親に貰った最初の宝物です。両親に感謝です。

そんな名前に夢の入った私が最初に夢を抱いたのは、小学2年生の頃でした。

友達のあおい君とマンションの前でビニールのボールとプラスチックのバットでやった野球でした。2000年ぐらいのことでしたが、当時から野球ができない公園というのが多くありまして、何とか工夫して野球を行っていました。でもなかなかマンションの前だけでは収まらなくなりまして。母に相談した結果、だったらチーム作っちゃおう！となりまして。僕とあおい君とお互いの両親が作ったチームが『上江別ブルードリームス』といいます。ここまで説明してわかるように最初に抱いた夢はプロ野球選手でした。退部すると僕自身よりも周りの落胆がすごかったです。両親はもちろんですが、親戚、小中の同級生、当時の監督コーチ。地味につらかったのはご近所さんですね。小さいころ阪神の帽子をかぶってマンション前で野球をやっていたの見ていましたから。あからさまに僕を避ける人もいました。そんな中時間にかかなりの余裕が出来る。一つの夢を失ったのをきっかけにまた新たなものを見つける形になりました。良く「なんでそんなにラジオが好きなの？」「ラジオのどんな所が好きなの？」といわれることがあるのですが、正直申し上げて僕自身もまだはっきりとはわかっていません。ですが、しいて挙げるとすれば、TVよりもラジオは「対、人」として、距離が近いということではないかと思っております。TVでは人の顔が見えて、表情も動きも見える。相手の心を動かすのにはTVの方が容易かもしれません。しかしラジオは声だけ。ですが、僕にはなぜかラジオの方が心に刺さり動かされたんです。これは人の言葉を借りるんですが、その要因はラジオでは人の本音が聴ける。からなのかなと思っております。今ならインターネット、特にTwitterやフェイスブックで本音はあふれています。人に届く本音、言葉を選んだ本音。というのが当時、野球という大きな夢を失った僕に大きく突き刺さったのではないかと思います。その後、僕は大学へ進学するのですが、ここでもラジオを主に行動していきました。北海学園系列の学校なのでそのまま北海学園大学に行けるのですが、大学生生活はこのラジオサークルでの活動に加え、アルバイトも掛け持ち。放送局のHBCさんや便利屋など、積極的に行っていました。中でも学生時代の中で大きく今の僕に役立っていたのはゼミナールの活動です。高校の時はイヤホンがお友達で消極的な僕だったんですが、大学では一転、積極的に活動できるようになりました。きっかけになったのは自分でゼミを立ち上げる前に所属していたゼミの教授でした。そのゼミはかなり壊れかけていたゼミで、教授がやさしく怒らないのをいいことに、やる気がない。私語が多い。寝てる。そもそもゼミに出席しない。そんなかなりレベルの低いゼミでした。自然な流れでそのゼミの進行役となっていたんですが、



はこれまでスポーツ実況というのはアイスホッケーのクレインズしかやったことがなかったそうで、高校野球の実況というのは僕が入ってから始まったものがあります。入って半年でいきなりの実況生中継となりました。なんせ高校野球の実況というものやったことがないんで、誰にも実況とはこうゆうものだよと、教えてもらえなくて、独学で取得しました。毎日ラジオのプロ野球中継を聞きながら、実況を書き起こしたり、テレビでは阪神のナイター中継の音を消して、ブツブツと練習をしておりました。実況が決まったのも本番の1か月半前のことだったので本当に急ピッチのモノでした。引き続き私、松谷ゆうむ、そしてFMくしろでは釧根地域の高校球児を全力取材！目指せ！甲子園ということで応援してまいります！余談なんですけど、実況生中継の方は甲子園に繋がる夏と秋の決勝戦に行っております。こちらは地元企業さんのスポンサー提供があっての放送でございます。中継のスポンサーにはまだ若干の余裕がありますので、皆さんの応援をよろしくお願いいたします。

そして少しずつ終わりに入っていくんですが、いま現在の僕の夢です。ほんとにたくさんのやりたいことがあるんですが、お恥ずかしいことに、まだFMくしろの中でも何を成し遂げていないので、具体的にどうしていいかわからないままです。そんな中、一つだけあげるとすれば、これは僕だけの夢ではないのかもしれませんが、そして今釧路湖陵高校が21世紀枠の候補に挙がっております。運命の発表が今度の金曜日になります。この日も取材に行っております。選手、監督、関係者の喜びの声が届けられるように今、願っております。長々と僕の夢の話を書かせていただきましたが、こうして改めて考えてみると僕の場合はホントにたくさんの人に恵まれて、何もかもタイミングが良かったし、運が良かったからこの夢であったラジオの仕事についているんだな。と感じます。そして最初に持ったプロ野球選手の夢というのも形は変わりましたがラジオの実況生中継という仕事として、野球にかかわることが出来ていますし、この僕の得意な分野を生かしながら、FMくしろや、そして大きなことを言ってしまうと、ラジオ業界、さらには高校野球や野球業界の発展に繋がればな。と考えております！そして最後に少しお話をさせていただきたいのですが、今の時期、冬場の大雪になりますと、除雪・通行止めなど道路に関する情報が多くなります。通行止め解除まで、時間が長くなるのも特徴です。釧路開発建設部様と協定を締結しまして、緊急時の国道の細かい情報をいただいております。釧路エリアはFMくしろ、根室エリアはFMねむろ、そして中標津エリアはFMはなと3局で情報を伝えています。釧路を出る時は何となくとも、少し離れると大雪で通行止めということもあります、立ち往生してしまうと危険が高まります。通行止め情報は、災害時の重要な情報として紹介しています。現在、FMくしろでは、各関係機関、たくさんのご協力で災害時の情報を伝えることができます。昨年の地震、停電をきっかけに、ラジオへの注目が高まっていることも社員全員が感じております。いざというときの情報もラジオを聴いていただければ、意味がありません。日頃から、皆様に親しんでいただける番組作りはもちろんのこと、番組の中での防災啓発メッセージ、災害時にはラジオが強いメディアということ、さらに充実させていくことが重要なのかなと考えております。

今週のスナップ

